

海外安全対策情報
(2018年7月～9月)

在セブ領事事務所

1 社会・治安情勢

(1) セブ州はマニラ首都圏に次ぐフィリピン第二の大都市圏であり、大型ショッピングモールや外交団施設、外国資本の施設がテロの標的とされる可能性も排除できない。

昨年4月中旬、ボホール州イナバンガにおいてアブ・サヤフ・グループ(ASG)のメンバーと治安部隊とが衝突する事件が発生する等、ビサヤ地方(セブ州を含む)における治安情勢は不透明な状況にあるため、十分な注意と警戒が必要である。

(2) フィリピンにおいては、強盗、窃盗事件や銃器を使用した殺人事件が多発している。また、日本人旅行者、特に短期語学留学生がランプのいかさま賭博や性犯罪の被害に遭う事例も報告されていることや、日本人を狙ったジブニー(乗合タクシー)内での武器を使用した強盗及びスリ被害も頻発していることから、滞在にあたっては慎重に行動することが大切である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) フィリピン国家警察から入手したセブ州の犯罪統計によれば、2018年7月～9月における犯罪発生件数は以下のとおり。

(ア) 殺人(含む未遂) 136件(前期比:14%増)

(うちセブ都市圏(セブ、マンダウェイ、ラプラプの3市)で76件(前期比:33%増))

(イ) 傷害 466件(前期比:6.4%増)

(うちセブ都市圏の3市で218件(前期比:18%増))

(ウ) 強姦 110件(前期比:15.7%増)

(うちセブ都市圏の3市で35件(前期比:12.9%増))

(エ) 強盗 231件(前期比:11%増)

(うちセブ都市圏の3市で109件(前期比:15.9%増))

(オ) 窃盗 729件(前期比:33%増)

(うちセブ都市圏の3市で520件(前期比:39.4%増))

(2018年7月～9月における犯罪件数総数は9,559件、前期比より1%増、前年同期比で11%減となっている)

(2) 邦人被害事案

(ア) 8月中旬, マンダウエ市内のホテルにおいて旅行で来比中の邦人男性が, 混雑したエレベーター内で旅券を窃取された。

(イ) 8月中旬, セブ市内において旅行中の邦人男性がショッピングモールにて旅券, 財布等が入ったカバンの置き引き被害に遭った。

(ウ) 8月下旬, セブ市内のホテル前の路上で, 旅行で来比中の邦人男性が, 旅券や現金のスリ被害に遭った。

(エ) 8月下旬, セブ市内で邦人女性が運転中, 近寄ってきた人物による銃撃に遭い死亡する事件が発生した。

(オ) 9月上旬, セブ市内の繁華街で, 旅行で来比中の邦人男性が, 旅券, 財布等が入ったポーチの盗難被害に遭った。

(カ) 9月中旬, マンダウエ市内の飲食店で, 旅行で来比中の邦人男性が, 食事中に旅券や現金等の入ったカバンの置き引き被害に遭った。

(3) 邦人以外の外国人被害事案

8月下旬, セブ市内のホテルにおいて韓国人が銃撃に遭い死亡する事件が発生した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害にかかる事件は無し。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害にかかる事件は無し。

5 日本企業の安全に関する諸問題

当地に所在する日系企業・個人に対する恐喝, 脅迫等の問題は報告されていない。

(了)